

No	標題	提案書要求事項	評価基準	配点	評価
1 基本事項				21	30.00%
(1) 実績				10	14.29%
	ア	標準化移行業務の受託実績 令和5年12月末時点で政令指定都市での標準化対象業務の移行委託の受託件数を記載してください。また、受託した各案件名及び概要を記載してください。（受託件数が6件以上の場合、代表的なもの5件を記載してください） 実績がない場合、どのようなことに注意して本業務を実施するか、記載してください。	政令指定都市における標準化対象業務移行の十分な知見を有しているか。	2	2.86%
	イ	母子保健業務の実績 令和5年12月末時点で政令指定都市で母子保健業務システムの構築を受託した案件の案件名及び概要を記載してください。（標準化以外の案件を含む。）（受託し、構築予定の件数は含めない。）（受託件数が6件以上の場合、代表的なもの5件を記載してください。） 実績がない場合、どのようなことに注意して本業務を実施するか、記載してください。	政令指定都市における母子保健業務システムの実績を有しているか。	4	5.71%
	ウ	母子保健業務パッケージの導入実績 令和5年12月末時点で政令指定都市で母子保健業務パッケージの導入実績件数を記載してください。（標準化以外の案件を含む。）（母子保健分野を含む健康管理業務パッケージの導入も含む。なお、業務パッケージとはスクラッチ開発ではない製品提供型の業務システムとする。） また、受託した各案件名及び概要を記載してください。（導入件数が6件以上の場合、代表的なもの5件を記載してください。）	政令指定都市における母子保健業務移行について、導入するパッケージに十分な実績があるか。	4	5.71%
(2) 体制・計画				5	7.14%
	ア	実施体制 本委託に関係する要員を記載してください。統括管理、標準準拠システム設定にかかる要件調整、関連システム開発など、各チームの役割を明らかにするとともに、専属、兼任を記載してください。個人名の記載は必須としませんが、担当者A、Bなど、同一人物が識別できるように記載してください。 再委託を想定する場合は、どの部分が該当するか、再委託が本市にとってどのようなメリットがあるか明らかにしてください。	プロジェクト運営に十分と思われる体制が取られているか。	2	2.86%
	イ	資格 実施体制の内、本委託に有効な資格を保有している者を、対応が分かるように記載してください。調達仕様書に記載の資格については記載を必須とします。	本委託に有効な資格の保有者がおり、円滑なプロジェクト運営や技術面の課題解決が見込めるか。	1	1.43%
	ウ	類似実績の有無 実施体制の内、本委託に類似するプロジェクトに参加した実績を持つ者を、対応が分かるように記載してください。 特に母子保健業務システムの移行の実績を持つ者はその実績を記載してください。（受託済みで今後切替を行う業務は除く。） システムの移行の実績がある者を配置しない場合、どのようなことに注意して本業務を実施するか、記載してください。	母子保健業務システムの移行の実績を有しており、高いレベルのリスクマネジメントが期待できるか。	1	1.43%
	エ	実施計画 委託期間全体のスケジュールを記載してください。各工程の前後関係や他システムとの関係性が分かるように記載してください。	必要な作業項目、前後関係が整理されており、実現性のある計画が立てられているか。	1	1.43%

No	標題	提案書要求事項	評価基準	配点	評価
(3) 業務知識				4	5.71%
	ア	情報システムの標準化・共通化への理解	国が示す標準化に関する資料（自治体DX推進計画、自治体情報システムの標準化・共通化に係る手順書、各種検討会資料など）について、実現に向けて特に注意すべき点や検討すべき点と認識している内容を記載してください。	1	1.43%
	イ	横浜市の標準化対象業務及びシステムへの理解	横浜市における業務実態や現行業務システムに関する考察及び課題認識について記載してください。	1	1.43%
	ウ	本業務の取組方針	上述の課題認識等を踏まえ、本業務の取組方針を記載してください。	2	2.86%
(4) 企業としての取組				2	2.86%
	ア	ワーク・ライフ・バランスに関する取組	次の項目について、認定を取得している場合は、認定名と認定日を記載してください。 ①次世代育成支援対策推進法に基づく認定（くるみんマーク、プラチナくるみんマーク） ②女性の職業生活における活躍の推進に関する法律に基づく認定（えるぼし） ③若者雇用促進法に基づく認定（ユースエール） ④よこはまグッドバランス賞	1	1.43%
	イ	障害者雇用に関する取組	障害者雇用に関する取組として、従業員数、障害者雇用数、障害者雇用率及び達成状況を記載してください。	0.5	0.71%
	ウ	健康経営に関する取組	次の項目について、認定を取得している場合は、認定名と認定日を記載してください。 ①健康経営銘柄 ②健康経営優良法人 ③横浜健康経営認証 ※③については、法人全体ではなく市内事業者で取得している場合は、その事業所が契約主体となる場合に限る。	0.5	0.71%
2 提案内容				38	54.29%
(1) システム導入方針				12	17.14%
	ア	システム概要	標準化の趣旨や本市の調達仕様を踏まえ、導入するシステムの概要を記載してください。	3	4.29%
	イ	システム稼働環境	システムを稼働させる環境（ガバメントクラウド、IaaS、オンプレミス等）、利用方式（単独利用・共同利用）、共同利用方式の場合の他自治体との環境分割方法（VPC単位、データベース単位等）を記載してください。また、その環境を選択した理由を、他の環境と比較を含めて記載してください。	3	4.29%
	ウ	システム構築方針	システムの構築方針を示してください。ソフトウェアのアーキテクチャ（マネージドサービス構成、OS、ミドルウェア、フレームワークなどの構成）を示してください。（なお、本市から提供するソフトウェアはありません。）	4	5.71%
	エ	リスク対応	上述のシステム概要と稼働環境、構築方針を踏まえ、考えられるリスクとリスクマネジメントの考えを記載してください。観点にはセキュリティと障害対策を含めることを必須とし、それ以外についても考えられるものを含めてください。	1	1.43%

No	標題	提案書要求事項	評価基準	配点	評価
	オ 負荷対応	人口、事務処理量など、本市をとりまく環境を踏まえ、システムの負荷の見込みとその対応について記載してください。	システム移行後に高負荷でシステムが止まる懸念がないか。	1	1.43%
(2) 機能要件・非機能要件の対応				9	12.86%
	ア 機能要件	別紙「システム機能要件回答書」に対応の可否、代替手段等を記載してください。 ※本項目は提案本編に記載は不要です。	本市が求めるオプション項目内、対応可能な割合（必須項目は評価対象外） なお、代替手段が記載され、本市でオプション対応可と同等と判断した場合には、対応可能に含める。	4	5.71%
	イ 非機能要件	別紙「システム機能要件回答書」に記載の本市の選択レベルについて対応の可否、対応不可の場合、選択レベルとその理由を記載してください。 ※本項目は提案本編に記載は不要です。	非機能要件の対応が妥当なものであるか	4	5.71%
	ウ 連携	本委託範囲外の標準準拠システム、外部システム、移行困難システムとの連携方法を記載してください。また、それらのシステムとの連携にかかる調整方法を記載してください。	各システムとの連携方法が明確であり、時期毎に必要な調整が明らかになっている。	1	1.43%
(3) 役務要件				6	8.57%
	ア プロジェクト管理の方式・進め方	進捗管理、課題管理、リスク管理、品質管理等のプロジェクト運営方法を記載してください。 プロジェクトを円滑に進めるためのポイントや、遅延予防、遅延した場合の対応方法を記載してください。 また、本市職員へのヒアリングや資料確認など、各工程における本市職員の作業量の見込と、作業負荷を減らすための工夫を記載してください。	適切な進行管理により、プロジェクト運営が円滑に進む内容になっているか。 本市職員の作業量が明確であり、作業量を減らす工夫があるか。	3	4.29%
	イ システム移行	標準化移行にあたって移行リハーサルの実施回数、タイミング、目的等を記載してください。 移行データの品質担保について、提案を記載してください。	各リハーサルの目的が明確であり、目的に沿った回数と時期が設定されているか。 移行データの品質担保について、具体的な提案がなされているか。	1	1.43%
	ウ 研修要件	本システムの利用者への研修方法について、実施内容、時期、利用する機器等を記載してください。	システム導入時の研修について、時期や対象者、内容が精査されており、効率的なものとなっているか。 e-Learningなど、集合研修以外の方法も考案されているか。 人事異動やシステム改修など、システム稼働後に研修が必要な機会の対応プランが考えられているか。	2	2.86%
(4) 運用保守				11	15.71%
	ア 保守の範囲	導入後のシステムの保守について、対応範囲を記載してください。 具体的には、標準仕様書改訂、対象業務に関する法改正対応、性能改善、便利機能（過誤防止、効率的な入力）などの対応範囲を記載してください。	システムの変更の範囲が明確になっており、保守費の中で対応可能な範囲が広い。	2	2.86%
	イ 保守の計画	導入後のシステムの対応までの時間について、対応方針を記載してください。 具体的には、標準仕様書改訂、対象業務に関する法改正対応、性能改善、便利機能（過誤防止、効率的な入力）などの変更にかかる想定時間を記載してください。	システムの変更の計画が立てられており、標準仕様書改訂、対象業務に関する法改正対応する時間を想定しているか。	2	2.86%
	ウ 保守費用	導入後のシステムの保守費用の今後5年間の想定を記載してください。	本委託費用と保守費用の割合が適切か。 本委託費用を低くする代わりに、保守費用が高く見積もられていないか。	3	4.29%

No	標題	提案書要求事項	評価基準	配点	評価
	工 保守体制	移行後の運用保守体制を記載してください。 再委託先を想定する場合、その役割分担やセキュリティ等のマネジメント方法を記載してください。 具体的な事業所に加え、障害発生時の対応方法や問合せ窓口等についても記載してください。	運用保守体制が明確か。 再委託先の役割やセキュリティマネジメント方法が妥当か。 障害発生時の対応や問合せ窓口が明確であり、十分な体制となっているか。 利用者からの問合せにも対応できる窓口が設けられているか。	2	2.86%
	オ 移行後の費用軽減	システム移行後の5年間の費用見込み（パッケージ利用料、システム運用保守費、機器リース料、クラウド環境の利用費用）を内訳を含め記載してください。 費用軽減のため、どのような検討を行ったか、移行後にどのような取組を行う予定か記載してください。	移行後の費用が明確であり、内訳が記載されているか。 費用軽減のための検討と、今後行う取組が明確か。	2	2.86%
3 プレゼンテーション・追加提案				11	15.71%
(1) プレゼンテーション・デモンストレーション				8	11.43%
	ア プレゼンテーション	提案内容に関するプレゼンテーションを行ってください。また、プレゼンテーション後、提案内容に関するヒアリングを行います。 ※本項目は提案本編に記載は不要です。	ヒアリングに対する答えが明確であるか。	3	4.29%
	イ デモンストレーション	導入するシステムに関するデモンストレーションを行ってください。 ※本項目は提案本編に記載は不要です。	画面遷移、操作性、視認性等が分かり易いものであるか。	5	7.14%
(2) 追加提案				3	4.29%
	ア 追加提案	将来を見据えた構想等があれば記載してください。 他都市での事例を基に本市に追加提案できるものがあれば記載してください。	追加提案事項が本市や本委託にとって有益であるか。他都市での好事例を本市にフィードバックできるか。	3	4.29%